

【現状】

福島ロボットテストフィールドやアーカイブ拠点など拠点の整備が進んでいるほか、福島イノベーション・コースト構想推進機構による産業集積や人材育成、交流人口拡大などの取組が本格化。

構想の具体化に向け、重点推進計画に掲げられた取組について国や市町村等と一層連携を強化し推進していく必要。

また、県内他地域の企業の構想への参画に向け、広域的な企業誘致や実証・ビジネスの呼び込みを進め、福島県全域に波及させていくことが必要。

第19回原子力災害からの福島復興再生協議会 (R1.8.8)
(「福島イノベーション・コースト構想の推進」部分抜粋)

研究開発の推進及び産業集積の加速化

- ・ 廃炉研究、ロボット、エネルギー、農林水産、環境・リサイクル等各取組を更に推進するための予算確保及び税制措置
- ・ 実用化開発や企業誘致を大胆に加速するための支援
- ・ 地元企業の参入による廃炉産業集積の推進、地元企業と地域外企業とのマッチングの促進 等



構想を支える教育・人材育成

- ・ 大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の充実
- ・ 国内外から優れた人材が集う教育研究拠点の更なる充実



浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進

- ・ 地域住民等相互交流の促進、地域の新たな魅力創造等による来訪者の増加や交流等の取組への支援 等



拠点の整備及び運営への支援

- ・ 福島ロボットテストフィールドの安定的な運営を図るために必要な予算の確保及び利用促進に向けた支援
- ・ 情報発信拠点（アーカイブ拠点）の確実な整備及び整備後の安定的な運営に必要な予算の確保 等



推進体制基盤の強化

- ・ 福島イノベーション・コースト構想推進機構の体制強化と必要な予算の確保
- ・ 規制緩和、資金調達の円滑化等による企業のあらゆるチャレンジの呼び込み 等



【令和2年度概算要求（イノベ関連）※主なもの】

研究開発の推進及び産業集積の加速化

＜廃炉・放射線関係＞

- ・ 「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン」の実現
 - 【文部科学省】 47.55億円 (44.6億円)
 - 【経済産業省】 155.0億円 (新規)
- ・ 廃炉・汚染水対策事業
 - 【経済産業省】 44.0億円 (36億円)

＜ロボット関係＞

- ・ ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト
 - 【経済産業省】 146.0億円 (163億円)

＜エネルギー関係＞

- ・ 未利用エネルギーを活用した水素サプライチェーン構築実証事業
 - 【経済産業省】 70.0億円 (85億円)
- ・ 福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金
 - 【経済産業省】 1.4億円 (1.4億円)

＜農林水産関係＞

- ・ 先端農林業ロボット研究開発事業
 - 【農林水産省】 57.0億円 (57億円)

＜全般＞

- ・ 地域復興実用化開発等促進事業
 - 【復興庁】 793億円の内数 (890億円の内数)
- ・ 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金
 - 【経済産業省】 制度要求
- ・ 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金
 - 【経済産業省】 制度要求

構想を支える教育・人材育成

- ・ 福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業
 - 【文部科学省】 3億円 (3億円)
- ・ 大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業
 - 【文部科学省】 5億円 (4億円)

浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進

- ・ 【再掲】 福島再生加速化交付金（交流人口拡大、交通環境、情報発信等）
 - 【復興庁】 793億円の内数 (890億円の内数)

拠点の整備及び運営への支援

- ・ 福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業（福島ロボットテストフィールド）
 - 【経済産業省】 10.2億円の内数 (9.3億円の内数)
- ・ 【再掲】 福島再生加速化交付金（原子力災害情報発信拠点施設等整備事業）
 - 【復興庁】 793億円の内数 (890億円の内数)
- ・ 地域の魅力等発信基盤整備事業（情報発信基盤整備事業）等
 - 【経済産業省/資源エネルギー庁】 18.8億円の内数 (新規)

推進体制基盤の強化

- ・ 【再掲】 福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業
 - 【経済産業省】 10.2億円の内数 (9.3億円の内数)